

行政評価（継続事業）  
事業手段の見直し(手段の改善等)

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度 指標の達成状況	妥当性 指標の目標水準	効率性 市の関与	有効性 事業の必要性	有効性 コスト削減の工夫	有効性 成果向上への見直し	有効性 施策効果	有効性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由			
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度												19年度	20年度	
1	助成・育成	重度身体障害者住宅リフォーム・美容パー事業	健康福祉局障害者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】重度身体障害者の在宅の改造を行う際に、リフォームヘルパーを派遣して相談に応じ、適切なアドバイスを行うことで、重度身体障害者の住環境の改善を図る。 【対象者】重度身体障害者(1,2級) 【具体的な活動内容】 リフォームヘルパーが身体状況や家屋の状況等を踏まえた上で相談に応じ、適切な助言を行う。また、旅行者その他の連絡調整を行う。	市単	[概算コスト] 488 (内訳) ・決算額 276 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 337 (内訳) ・決算額 125 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 395 (内訳) ・決算額 177 ・人件費 435 (0.05人)	[概算コスト] 423 (内訳) ・決算額 208 ・人件費 215 (0.05人)	派遣回数 (単位:回) 15	[目標値] 36 [実績値] 28 <達成率> 77.8%	[目標値] 18 [実績値] 10 <達成率> 55.6%	[目標値] 20 [実績値] 13 <達成率> 65.0%	[目標値] 15	重度障害者の在宅福祉向上	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 活動指標の達成度が低いことから、派遣回数の増加を図るため、広報の強化などを図るべきである。
2	助成・育成	重度身体障害者理髪・美容サービス事業	健康福祉局障害者福祉課	○事業開始年度 平成6年度 【概要】外出困難な重度身体障害者の自宅に理容業者等を派遣し、理髪又は美容サービスを行い、福祉の増進に寄与する。 【対象者】在宅の外出困難な重度身体障害者(肢体不自由1級・視覚障害1級) 【具体的な活動内容】 年間3回の利用券を交付する(申請月により回数異なる)。利用料は無料。	市単	[概算コスト] 909 (内訳) ・決算額 484 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 861 (内訳) ・決算額 436 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 995 (内訳) ・決算額 560 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 829 (内訳) ・決算額 400 ・人件費 429 (0.10人)	派遣回数 (単位:回) 100	[目標値] 121 [実績値] 121 <達成率> 100.0%	[目標値] 109 [実績値] 109 <達成率> 100.0%	[目標値] 175 [実績値] 175 <達成率> 100.0%	[目標値] 100	重度障害者の福祉増進	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 重度障害者の福祉増進のため必要な事業であり、更なる利用促進のため、制度の周知に努めるべきである。
3	助成・育成	寝具乾燥事業	健康福祉局障害者福祉課	○事業開始年度 昭和54年度 【概要】介護を必要とする状態が6か月以上継続しているねたきりの身体障害者の自宅に業者等を派遣し、寝具の洗濯、消毒及び乾燥を行い福祉の向上を図る。 【対象者】在宅の65歳未満の身体障害者のうち世帯の生計中心者の前年の所得税が非課税の者 【具体的な活動内容】 年間3回の利用券を交付する(申請月により回数異なる)。利用料は無料。	市単	[概算コスト] 517 (内訳) ・決算額 92 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 491 (内訳) ・決算額 66 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 528 (内訳) ・決算額 93 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 497 (内訳) ・決算額 68 ・人件費 429 (0.10人)	利用回数 (単位:回) 18	[目標値] 25 [実績値] 25 <達成率> 100.0%	[目標値] 18 [実績値] 18 <達成率> 100.0%	[目標値] 21 [実績値] 21 <達成率> 100.0%	[目標値] 18	障害者の保健衛生向上	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 重度障害者の福祉増進のため必要な事業であり、更なる利用促進のため、制度の周知に努めるべきである。
4	助成・育成	難病患者等ホームヘルプサービス事業	健康福祉局障害者福祉課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】難病患者等の居宅における療養生活を支援するため、難病患者等の家庭に対してホームヘルパーを派遣し入浴等の介護、家事等の便宜を供与し、福祉の増進を図る。 【対象者】難病患者等 【具体的な活動内容】 ・難病患者等の家庭にホームヘルパーを派遣して、適切な家事介護等日常生活の世話をを行う。 ・生計中心者の前年度所得税課税額に応じて費用負担がある。	国補助	[概算コスト] 440 (内訳) ・決算額 100 ・人件費 340 (0.08人)	[概算コスト] 476 (内訳) ・決算額 136 ・人件費 340 (0.08人)	[概算コスト] 476 (内訳) ・決算額 128 ・人件費 348 (0.08人)	[概算コスト] 936 (内訳) ・決算額 592 ・人件費 344 (0.08人)	利用者数 (単位:人) 3	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 3	難病患者の在宅福祉の向上	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 難病に係る手続き等の窓口は保健所であることから、利用者等の利便性向上のため、保健所においても手続きができるよう検討するべきである。	
5	助成・育成	難病患者等日常生活用具給付事業	健康福祉局障害者福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 平成9年度 【概要】難病患者等に対し、居宅における療養生活を支援するため、特殊寝台等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り、福祉の増進を図る。 【対象者】難病患者等 【具体的な活動内容】 ・難病患者等に対し、17種目の日常生活用具を給付する。 ・主な種目> 便器、特殊マット、特殊寝台、特殊便器、車いす、入浴補助用具、居宅生活動作補助用具、電気式たん吸引機、パルスオキシメーター ・生計中心者の前年度所得税課税額に応じて費用負担がある。	国補助	[概算コスト] 868 (内訳) ・決算額 443 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 885 (内訳) ・決算額 260 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 651 (内訳) ・決算額 216 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 1,015 (内訳) ・決算額 586 ・人件費 429 (0.10人)	用具の給付件数 (単位:件) 6	[目標値] 7 [実績値] 8 <達成率> 114.3%	[目標値] 6 [実績値] 3 <達成率> 50.0%	[目標値] 6 [実績値] 3 <達成率> 50.0%	[目標値] 6	難病患者の在宅福祉の向上	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 難病に係る手続き等の窓口は保健所であることから、利用者等の利便性向上のため、保健所においても手続きができるよう検討するべきである。	
6	助成・育成	成年後見制度利用支援事業	健康福祉局障害者福祉課 保健予防課	○事業開始年度 平成14年度 【概要】身寄りのない人などのための法定後見の開始の審判の申立て及び申立て費用、後見人報酬の助成等を行う。 【対象者】障害・疾病者 【具体的な活動内容】 ・成年後見の開始の申立て ・申立て費用、後見人報酬の助成	国・県補助	[概算コスト] 425 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 566 (内訳) ・決算額 141 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 489 (内訳) ・決算額 54 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 938 (内訳) ・決算額 509 ・人件費 429 (0.10人)	成年後見の開始の審判の申立て件数 (単位:件) 2	[目標値] 2 [実績値] 0 <達成率> 0.0%	[目標値] 2 [実績値] 1 <達成率> 50.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2	障害者の権利擁護の推進	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 成年後見制度のより一層の周知を図るため、制度の広報に努めるべきである。	
7	相談	家庭児童相談員設置事業	健康福祉局こども福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 昭和45年度 【概要】家庭における適正な児童養育、その他家庭児童の福祉の向上を図るための相談・指導を行うため、家庭児童相談員を設置する。 【対象者】家庭内における児童について悩みごとをもつ世帯 【具体的な活動内容】 家庭における児童養育上の諸問題に対し、児童相談所・児童委員等と連絡調整を図りながら相談・指導を行う。	市単	[概算コスト] 6,829 (内訳) ・決算額 6,404 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 6,834 (内訳) ・決算額 6,409 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 6,820 (内訳) ・決算額 6,385 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 6,808 (内訳) ・決算額 6,379 ・人件費 429 (0.10人)	相談員数 (単位:人) 3	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3	相談件数 (単位:件) 800	[目標値] 800 [実績値] 645 <達成率> 80.6%	[目標値] 800 [実績値] 816 <達成率> 102.0%	[目標値] 800 [実績値] 826 <達成率> 103.3%	[目標値] 850	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 相談員1人あたりの相談件数が少ないと思われることから、相談員事業の一層の周知を図るべきである。

行政評価（継続事業）  
事業手段の見直し(手段の改善等)

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度 指標の達成状況	妥当性 事業の必要性 市の関与	効率性 事業手法 事業の統合	有効性 コスト削減の工夫 成果向上への見直し	施策効果 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度									19年度	20年度					
8	その他	母子・父子家庭等生活支援事業	健康福祉局 子ども福祉課	○事業開始年度 平成8年度 【概要】母子・父子家庭等の自立の促進と生活の安定、向上を図るため各種事業を実施する。 【対象者】母子家庭・父子家庭・寡婦 【具体的な活動内容】 ・母子・父子家庭生活支援講習会事業の実施(子育てや生活全般について講習会) ・一時的に必要な場合などに家庭生活支援員を派遣し、託児や家事等の生活支援を行う ・母子・父子家庭等たすけあい資金貸付事業の実施(緊急一時的に必要な小口資金の貸付)	国補助	[概算コスト] 5,409 (内訳) ・決算額 4,560 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 3,493 (内訳) ・決算額 2,644 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 3,343 (内訳) ・決算額 2,473 ・人件費 870 (0.20人)	[概算コスト] 3,503 (内訳) ・決算額 2,644 ・人件費 859 (0.20人)	講習会開催回数 (単位:回)	[目標値] 34 [実績値] 34	[目標値] 28 [実績値] 24	[目標値] 24 [実績値] 24	[目標値] 24 [実績値] 24	講習会参加人数 (単位:人)	[目標値] 1,200 [実績値] 954	[目標値] 1,000 [実績値] 599	[目標値] 800 [実績値] 789	[目標値] 960 [実績値] 789	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 活動指標、成果指標がともに減少傾向にあることから、利用者の増加を図るため、一層の事業の周知を図るべきである。	
9	助成・育成	母子家庭等自立支援事業	健康福祉局 子ども福祉課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】母子家庭等の自立を図るため、就業支援講習会の実施や自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費を支給する。 【対象者】就業支援講習会(母子家庭の母、寡婦)、自立支援教育訓練給付金等(母子家庭の母) 【具体的な活動内容】①就職の際に有利な技能、資格等を取得するための講習会を実施 ②職業能力の開発のための講座の受講料の一部を支給(受講料の20%相当、上限10万円) ③看護師等の本市が指定した資格の取得について、資格取得中の一定期間、訓練促進費を支給(月額103千円の範囲内)	国補助	[概算コスト] 18,943 (内訳) ・決算額 16,820 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 13,808 (内訳) ・決算額 11,685 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 17,894 (内訳) ・決算額 15,719 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 18,214 (内訳) ・決算額 16,067 ・人件費 2,147 (0.50人)	自立支援教育訓練給付金と高等技能訓練促進費の支給人数 (単位:人)	[目標値] 44 [実績値] 43	[目標値] 48 [実績値] 29	[目標値] 37 [実績値] 16	[目標値] 27 [実績値] 16	母子家庭の母親等の就労促進	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	△	△	○	◎	○	◎	○	○	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 活動指標が減少傾向にあることから、利用者の増加を図るために、広報の充実を図るべきである。
10	相談	婦人相談員設置事業	健康福祉局 子ども福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】女性の身上や生活の相談・助言を行うとともに、売春を行うおそれのある女子の保護更生のために相談・助言を行う。 【対象者】女性 【具体的な活動内容】 ・要保護女子の発見、相談業務 ・要保護女子の転落防止と保護更生のために必要な指導 ・夫等からの暴力に関する相談等の業務	国補助	[概算コスト] 6,882 (内訳) ・決算額 6,457 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 7,358 (内訳) ・決算額 6,933 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 7,365 (内訳) ・決算額 6,930 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 7,350 (内訳) ・決算額 6,921 ・人件費 429 (0.10人)	相談員数 (単位:人)	[目標値] 3 [実績値] 3	[目標値] 3 [実績値] 3	[目標値] 3 [実績値] 3	[目標値] 3 [実績値] 3	相談件数 (単位:件)	[目標値] 1,200 [実績値] 1,105	[目標値] 1,200 [実績値] 1,196	[目標値] 1,200 [実績値] 1,005	[目標値] 1,200 [実績値] 1,005	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 相談員1人あたりの相談件数が少ないと思われることから、相談員事業の一層の周知を図るべきである。
11	相談	母子自立支援員設置事業	健康福祉局 子ども福祉課 谷山福祉課	○事業開始年度 昭和62年度 【概要】母子家庭及び寡婦の相談に応じ、自立に必要な情報提供及び指導、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う。 【対象者】母子家庭、寡婦 【具体的な活動内容】 ・母子寡婦福祉資金貸付・償還業務 ・就業、生活相談業務 ・母子自立支援プログラム策定業務	国補助	[概算コスト] 9,473 (内訳) ・決算額 9,048 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 9,050 (内訳) ・決算額 8,625 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 9,062 (内訳) ・決算額 8,627 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 12,653 (内訳) ・決算額 12,009 ・人件費 644 (0.15人)	相談員数 (単位:人)	[目標値] 4 [実績値] 4	[目標値] 4 [実績値] 4	[目標値] 4 [実績値] 4	[目標値] 6 [実績値] 4	相談件数 (単位:件)	[目標値] 5,000 [実績値] 5,065	[目標値] 4,500 [実績値] 4,044	[目標値] 4,000 [実績値] 3,560	[目標値] 4,500 [実績値] 3,560	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 母子家庭等の自立支援のため必要な事業ではあるが、成果指標が減少していることから、相談件数の増加を図るため、広報の充実を図るべきである。
12	その他	母子寡婦福祉資金貸付事業	健康福祉局 子ども福祉課	○事業開始年度 平成8年度 【概要】母子・寡婦福祉資金の貸付けを行うことにより、20歳未満の児童を扶養している母子世帯及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、その福祉の増進を図る。 【対象者】母子家庭の母、母子家庭の児童、父母のない児童、寡婦 【具体的な活動内容】 事業開始資金・修学資金・生活資金など12種類の貸付金の貸付	特会	[概算コスト] 331,595 (内訳) ・決算額 328,623 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 268,166 (内訳) ・決算額 265,194 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 189,859 (内訳) ・決算額 186,814 ・人件費 3,045 (0.70人)	[概算コスト] 273,456 (内訳) ・決算額 270,450 ・人件費 3,006 (0.70人)	貸付件数 (単位:件)	[目標値] 984 [実績値] 878	[目標値] 962 [実績値] 673	[目標値] 914 [実績値] 449	[目標値] 646 [実績値] 449	母子世帯及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 母子家庭等の経済的安定を図るため本制度は必要であるが、滞納金額が高額となっていることから、滞納の理由を十分分析し、対応を検討するべきである。
13	啓発・広報	収納率向上特別対策事業	市民局 国民健康保険課	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】国民健康保険税の収納率向上を目指し、徴収体制等の充実・強化を図る。 【対象者】鹿児島市国民健康保険被保険者 【具体的な活動内容】 ・滞納処分の強化 ・口座振替の普及促進 ・広報活動の強化 ・滞納整理支援システム稼働による収納率向上	県補助	[概算コスト] 7,161 (内訳) ・決算額 6,312 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 22,266 (内訳) ・決算額 18,658 ・人件費 3,608 (0.85人)	[概算コスト] 36,371 (内訳) ・決算額 27,671 ・人件費 8,700 (2.00人)	[概算コスト] 20,652 (内訳) ・決算額 16,444 ・人件費 4,208 (0.98人)	口座振替世帯率 (単位:%)	[目標値] 50 [実績値] 45.69	[目標値] 50 [実績値] 48.15	[目標値] 50 [実績値] 49.75	[目標値] 50 [実績値] 49.75	国保税現年課税分収納率 (単位:千円)	[目標値] 14,600,730 [実績値] 13,247,836	[目標値] 14,899,379 [実績値] 13,521,702	[目標値] 15,058,497 [実績値] 13,615,058	[目標値] 12,256,175 [実績値] 13,615,058	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 特別滞納整理課とさらに連携を深め、国民健康保険税の収納率向上に努めるべきである。
14	啓発・広報	広報活動事業	市民局 国民健康保険課	○事業開始年度 平成15年度 【概要】国民健康保険の制度の趣旨や事業内容を市民に周知し、円滑な国民健康保険運営を図る。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・国保広報紙の配布 ・広報ステッカーの市電・市バス、民間バスへの掲示 ・広報電車の運行 ・市電・市バス車内音声広告 ・JR列車時刻表への広告掲載	県補助	[概算コスト] 13,333 (内訳) ・決算額 9,215 ・人件費 4,118 (0.97人)	[概算コスト] 15,398 (内訳) ・決算額 12,002 ・人件費 3,396 (0.80人)	[概算コスト] 14,498 (内訳) ・決算額 11,018 ・人件費 3,480 (0.80人)	[概算コスト] 17,534 (内訳) ・決算額 13,455 ・人件費 4,079 (0.95人)	広報紙「ひまわり」配布世帯数(年間延べ) (単位:世帯)	[目標値] 537,320 [実績値] 267,107	[目標値] 539,990 [実績値] 539,659	[目標値] 544,500 [実績値] 544,263	[目標値] 549,300 [実績値] 544,263	国民健康保険制度の趣旨普及の徹底	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	◎	◎	○	○	△	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 国保広報紙の作成にあたっては、財源の一部を広告収入でまかなうなど、経費削減を図るとともに効果的な広報を検討する必要がある。

行政評価（継続事業）  
事業手段の見直し(手段の改善等)

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度									19年度	20年度					
15	その他	高額療養資金貸付事業	市民局国民健康保険課	○事業開始年度 昭和53年度 【概要】高額な医療費の支払に必要な資金の貸付・受付事務を鹿児島市社会福祉協議会へ委託する。 【対象者】高額療養資金貸付基金条例第5条に定める対象者 【具体的な活動内容】 ・高額療養資金貸付申請用紙交付及び申請書受付事務 ・計算事務(一部負担金及び貸付対象額等の算定) ・貸付可否の決定及び貸付台帳作成事務	市単	[概算コスト] 7,413 (内訳) ・決算額 6,988 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 7,414 (内訳) ・決算額 6,777 ・人件費 637 (0.15人)	[概算コスト] 3,730 (内訳) ・決算額 3,077 ・人件費 653 (0.15人)	[概算コスト] 2,472 (内訳) ・予算額 2,043 ・人件費 429 (0.10人)	高額療養資金貸付件数(年間延べ) (単位:件)	[目標値] 11,898 [実績値] 10,111	[目標値] 10,111 [実績値] 10,336	[目標値] 4,134 [実績値] 3,811	[目標値] 1,824 [実績値] 3,811	借受人の生活安定 [目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	—	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 高額療養費の現物給付化により利用者が減少傾向にあることから、基金の額を減額するなどの見直しを検討するべきである。	
16	その他	民生安定資金貸付事業	健康福祉局地域福祉課	○事業開始年度 昭和29年度 【概要】本市の住民で、自立の生計を営むことができない者並びに支援を必要とする母子世帯、身体障害者及び天災による災害に対し、資金の貸付を行い、民生の安定と福祉の増進を図る。 【対象者】低所得者世帯(市民税の非課税・均等課税世帯)、母子・寡婦世帯、障害者世帯、天災による災害者世帯 【具体的な活動内容】 貸付金額 100万円以内 利子 年3%以内 返済期間 6年以内(うち据置期間4ヶ月)	市単	[概算コスト] 1,203 (内訳) ・決算額 354 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 1,151 (内訳) ・決算額 302 ・人件費 849 (0.20人)	[概算コスト] 1,638 (内訳) ・決算額 768 ・人件費 870 (0.20人)	[概算コスト] 1,758 (内訳) ・予算額 899 ・人件費 859 (0.20人)	貸付件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 1	[目標値] 3 [実績値] 0	[目標値] 3 [実績値] 2	[目標値] 3 [実績値] 2	民生の安定と福祉の増進 [目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	[目標値] [実績値]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 低所得者層の自立支援のためなどに必要な事業ではあるが、貸付件数が少ないことから、基金の額を減額するなどの見直しを検討するべきである。	
17	市民サービス	生涯学習プラザ事業	教育委員会生涯学習課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】市民が社会生活を営む上で必要な課題解決をするための高度で専門的な学習機会を提供し、社会の変化に主体的に対応できる市民を育成する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・生涯学習プラザ講座の開設 ・サンエール芸術祭の開催(18年度2回→19年度1回で終了) ・サンエール特別講演会の開催(17年度で終了)	市単	[概算コスト] 9,086 (内訳) ・決算額 6,114 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 7,711 (内訳) ・決算額 4,739 ・人件費 2,972 (0.70人)	[概算コスト] 7,800 (内訳) ・決算額 4,755 ・人件費 3,045 (0.70人)	[概算コスト] 7,041 (内訳) ・予算額 4,035 ・人件費 3,006 (0.70人)	講座数 (単位:講座)	[目標値] 34 [実績値] 34	[目標値] 34 [実績値] 34	[目標値] 34 [実績値] 34	[目標値] 37 (単位:人) [実績値] 770	講座の受講者数 [目標値] 711 [実績値] 683	[目標値] 703 [実績値] 703	[目標値] 762 [実績値] 703	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 講座内容が高度であり、民間で有料で提供されているような講座については、教材費等の実費負担だけでなく、講座の受講料についても受益者負担の検討をすとも講座内容についても見直しを検討するべきである。	
18	イベント	生涯学習フェスティバル開催事業	教育委員会生涯学習課	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】生涯学習のあり方を展望し、本市の生涯学習推進のモットーである「市民一人一芸一学習一スポーツ」のさらなる活性化を図る。舞台や展示発表等とおして、生涯学習に対する関心を高めることにより、心豊かで学ぶ喜びに満ちた市民を育てる機会とする。本市の生涯学習を全市的な取組で総合的に推進していく機会とする。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 講演会の開催、学習成果発表(郷土芸能、合唱、春の新人賞受賞者、表現運動等)、まちづくりについてのシンポジウム。	市単	[概算コスト] 3,613 (内訳) ・決算額 3,188 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 3,338 (内訳) ・決算額 2,913 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 3,392 (内訳) ・決算額 2,957 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 3,778 (内訳) ・予算額 3,349 ・人件費 429 (0.10人)	生涯学習フェスティバル開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1	[目標値] 1 [実績値] 1	[目標値] 1 [実績値] 1	[目標値] 1 [実績値] 1	参加者数 (単位:人)	[目標値] 7,200 [実績値] 7,797	[目標値] 6,000 [実績値] 6,233	[目標値] 6,000 [実績値] 5,314	[目標値] 6,000 [実績値] 6,000	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 参加者が減少傾向にあることから、参加者の増加策について検討する必要がある。	
19	その他	収蔵美術品の充実事業	教育委員会美術館	○事業開始年度 昭和29年度 【概要】美術品収集の基本方針に基づき、西洋美術、郷土関係作家の作品、地元の風土に取材した作品などを収集し、収蔵美術品の充実を図る。 【対象者】収集した美術品の鑑賞は美術館を訪れる国内外の全ての人が対象 【具体的な活動内容】 ・19世紀末以降の西洋美術の流れを概観できる主要作家の作品を収集 ・鹿児島市の美術史を形成するため地元関係作家の作品を収集 ・桜島などに取材した秀れた作品を収集	市単	[概算コスト] 52,197 (内訳) ・決算額 49,650 ・人件費 2,547 (0.60人)	[概算コスト] 46,747 (内訳) ・決算額 44,200 ・人件費 2,547 (0.60人)	[概算コスト] 31,910 (内訳) ・決算額 29,300 ・人件費 2,610 (0.60人)	[概算コスト] 52,576 (内訳) ・予算額 50,000 ・人件費 2,576 (0.60人)	美術品収集点数 (単位:点)	[目標値] 2 [実績値] 2	[目標値] 2 [実績値] 3	[目標値] 2 [実績値] 2	[目標値] 2 [実績値] 2	常設展観覧者数 (単位:人)	[目標値] 40,000 [実績値] 41,876	[目標値] 40,000 [実績値] 35,964	[目標値] 40,000 [実績値] 39,908	[目標値] 40,000 [実績値] 40,000	○	○	◎	○	△	◎	○	△	○	○	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 市民の美術に対する関心と理解を深め、教育機関としての機能を高めるため、美術品の収集は必要であるが、美術品取得基金の創設など、コストの面からより効率的な収集の方法を検討するとともに、収蔵品の効果的な展示方法についても検討する必要がある。
20	助成・育成	鹿児島市青少年少女合唱団振興事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】昭和48年12月に創設された鹿児島市青少年少女合唱団を引き続き存続させ、本市の児童・生徒の音楽水準の向上に寄与する。 【対象者】鹿児島市青少年少女合唱団の団員 【具体的な活動内容】 ・定期練習、特別練習の実施 ・定期演奏会の開催 ・各種式典、行事への参加 ・福祉団体への訪問演奏会	市単	[概算コスト] 4,533 (内訳) ・決算額 4,108 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 2,380 (内訳) ・決算額 1,955 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,989 (内訳) ・決算額 1,945 ・人件費 44 (0.01人)	[概算コスト] 1,956 (内訳) ・予算額 1,913 ・人件費 43 (0.01人)	合唱団員数 (単位:人)	[目標値] 75 [実績値] 75	[目標値] 50 [実績値] 50	[目標値] 50 [実績値] 41	[目標値] 50 [実績値] 41	演奏活動回数 (単位:回)	[目標値] 8 [実績値] 8	[目標値] 8 [実績値] 8	[目標値] 8 [実績値] 9	[目標値] 8 [実績値] 8	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 団員数が減少傾向にあることから、活動のPRの強化など、団員を増やす工夫を行うとともに、一層の技術向上と活動の充実を図り、合唱団としての魅力を高める必要がある。
21	助成・育成	市民文化活動推進事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 昭和52年度 【概要】市民文化のより一層の振興を図るとともに、本市の伝統芸能に対する理解と関心を深め、その保存と活用の機運を高める。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市ふるさと芸能祭 市内に伝えられる郷土芸能や一般芸能等の発表を実施する。 ・鹿児島市市民文化祭 詩吟剣道大会等の文化団体による行事を共催する。	市単	[概算コスト] 3,554 (内訳) ・決算額 3,129 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,853 (内訳) ・決算額 1,428 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 2,883 (内訳) ・決算額 2,448 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 2,844 (内訳) ・予算額 2,415 ・人件費 429 (0.10人)	ふるさと芸能祭等参加団体数 (単位:団体)	[目標値] 20 [実績値] 22	[目標値] 20 [実績値] 21	[目標値] 20 [実績値] 24	[目標値] 20 [実績値] 24	ふるさと芸能祭等鑑賞者数 (単位:人)	[目標値] 15,000 [実績値] 15,300	[目標値] 15,000 [実績値] 11,200	[目標値] 15,000 [実績値] 12,446	[目標値] 15,000 [実績値] 15,000	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	A	Ba	【事業手段の見直し(手段の改善等)】  (理由) 本市の伝統文化の一層の振興を図るため、イベント内容の充実を図るとともに、鑑賞者数が減少傾向にあることから、より多くの市民が鑑賞するよう効果的な広報に努めるべきである。

行政評価（継続事業）  
事業手段の見直し(手段の改善等)

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由							
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度									19年度	20年度					
22	助成・育成	文化団体との共催事業の推進(文化団体の育成)事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 昭和46年度 【概要】本市の文化活動の活性化と芸術鑑賞の機会を創るために、文化振興に寄与する各種事業を本市と共催して開催し、経費の一部を助成する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】市内で事業を開催する7つの団体に対して共催負担金を支出することで、文化団体の育成、文化活動の推進、芸術文化鑑賞の機会拡充を図る。	市単	[概算コスト] 4,789 (内訳) ・決算額 4,364 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,019 (内訳) ・決算額 3,594 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 3,695 (内訳) ・決算額 3,260 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 4,189 (内訳) ・予算額 3,760 ・人件費 429 (0.10人)	共催団体数 (単位:団体)	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 7 <達成率> 77.8%	[目標値] 7 [実績値] 6 <達成率> 85.7%	[目標値] 7 [実績値] 6 <達成率> 85.7%	鑑賞者数 (単位:人)	[目標値] 8,000 [実績値] 4,795 <達成率> 59.9%	[目標値] 8,000 [実績値] 5,721 <達成率> 71.5%	[目標値] 6,000 [実績値] 4,757 <達成率> 79.3%	[目標値] 6,000 [実績値] 6,000 <達成率> 100.0%	○	○	◎	○	○	○	○	△	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 鑑賞者数が少ないことから、より多くの市民が鑑賞できるよう広報等について工夫する必要がある。
23	助成・育成	教育普及事業	教育委員会美術館	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】教育普及活動の充実を図り、市民の美術に対する関心と理解を深め、開かれた美術館の運営を推進する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】美術教室の開催(定員20~25名、年6回) ・美術講演会の開催(年2回) ・ライブラリー書籍等の充実 ・全国美術館、学校、出版社、ギャラリー等へ展覧会ポスター等を配布	市単	[概算コスト] 4,780 (内訳) ・決算額 2,657 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 5,615 (内訳) ・決算額 3,492 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 5,309 (内訳) ・決算額 3,134 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 5,722 (内訳) ・予算額 3,575 ・人件費 2,147 (0.50人)	美術教室講演会の開催回数 (単位:回)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	美術教室講演会の参加者数 (単位:人)	[目標値] 220 [実績値] 245 <達成率> 111.4%	[目標値] 220 [実績値] 230 <達成率> 104.5%	[目標値] 220 [実績値] 273 <達成率> 124.1%	[目標値] 220 [実績値] 220 <達成率> 100.0%	◎	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 市民の教育、学術及び文化の向上に資するため必要な事業であるが、経験者を対象とするような高度な内容の講座などは受益者負担の観点から受講料の徴収について検討する必要がある。	
24	イベント	市民公募展事業	教育委員会美術館	○事業開始年度 平成17年度 【概要】市民の創作した作品をジャンルを問わず幅広く公募し、無審査で展示することによって、市民の自発的な芸術文化活動の輪を広げる。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】市民の創作した作品を幅広く公募し、無審査で展示 ・観覧者の人気投票等により、表彰する。	市単	[概算コスト] 2,428 (内訳) ・決算額 730 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 2,359 (内訳) ・決算額 661 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 2,436 (内訳) ・決算額 696 ・人件費 1,740 (0.40人)	[概算コスト] 2,472 (内訳) ・予算額 754 ・人件費 1,718 (0.40人)	市民公募展の応募回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	市民公募展の応募点数 (単位:点)	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 103 <達成率> 103.0%	[目標値] 100 [実績値] 51 <達成率> 51.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	△	○	○	○	△	○	○	△	○	-	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 市民の自発的な芸術文化活動の輪を広げるために必要な事業であるが、応募作品数が減少していることから、優秀作品については一定期間展示を行うなど、賞や作品展示のあり方を見直すとともに、幅広い年齢層から応募がなされるように、広報活動を強化する必要がある。
25	市民サービス	移動図書館	教育委員会図書館	○事業開始年度 平成2年度 【概要】移動図書館車による図書巡回貸出、移動図書館フェスティバル開催 【対象者】図書館及び地域公民館図書室を利用しにくい市民 【具体的な活動内容】移動図書館車2台で約56カ所のステーションを巡回し、図書の貸出サービスを行っている。年間巡回日数は約140日 ・移動図書館フェスティバルを年1回開催(7月)	市単	[概算コスト] 15,654 (内訳) ・決算額 15,229 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 15,230 (内訳) ・決算額 14,805 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 15,665 (内訳) ・決算額 15,230 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 15,579 (内訳) ・予算額 15,150 ・人件費 429 (0.10人)	1ヶ所当りの移動図書館巡回回数 (単位:回)	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	年間貸出冊数 (単位:冊)	[目標値] 65,000 [実績値] 63,529 <達成率> 97.7%	[目標値] 65,000 [実績値] 58,337 <達成率> 89.7%	[目標値] 60,000 [実績値] 53,213 <達成率> 88.7%	[目標値] 60,000 [実績値] 60,000 <達成率> 100.0%	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 利用者が減少傾向にあり、利用者のニーズも低下してきていると思われることから、巡回ステーションの縮小を含め、事業のあり方を見直す必要がある。
26	助成・育成	椋鳩十児童文学賞事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成2年度 【概要】日本を代表する児童文学者椋鳩十氏の業績を顕彰するとともに、若い児童文学者を発掘し、鹿児島を児童文学の情報発信の拠点とする。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】椋鳩十児童文学賞作品募集及び表彰 ・子どもたちに聞かせたい創作童話作品募集及び表彰	市単	[概算コスト] 15,259 (内訳) ・決算額 13,136 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 14,441 (内訳) ・決算額 12,318 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 14,901 (内訳) ・決算額 12,726 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 16,804 (内訳) ・予算額 14,657 ・人件費 2,147 (0.50人)	授賞式祝賀会回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	授賞式祝賀会参加者数 (単位:人)	[目標値] 390 [実績値] 390 <達成率> 100.0%	[目標値] 390 [実績値] 390 <達成率> 100.0%	[目標値] 440 [実績値] 440 <達成率> 100.0%	[目標値] 440 [実績値] 440 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	△	○	△	○	△	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 事業の開始から20年近く経つことから、当文学賞の市民への認知度をさらに高め、より一層市民への浸透を図るとともに、当文学賞を通じた本市のPRの強化について検討する必要がある。 さらに、祝賀会開催経費等を見直すなどコスト削減を検討すべきである。	
27	啓発・広報	歴史・文化資産のデジタル化推進事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】本市の貴重な歴史・文化資産や、市内の史跡・文化財、伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化し、インターネットを活用して情報を世界に向けて発信。 【対象者】鹿児島市民を中心とする利用希望者(アメリカ等海外からの利用も多い) 【具体的な活動内容】鹿児島市地域情報化計画に基づき、市立美術館、かこしま近代文学館・メルヘン館などに収蔵されている本市の貴重な歴史・文化資産や、市内の史跡・文化財、伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化し、インターネットを活用して情報を広く発信する。	市単	[概算コスト] 27,439 (内訳) ・決算額 27,439 ・人件費 0	[概算コスト] 28,160 (内訳) ・決算額 28,160 ・人件費 0	[概算コスト] 14,442 (内訳) ・決算額 14,442 ・人件費 0	[概算コスト] 3,794 (内訳) ・予算額 3,794 ・人件費 0	登録数 (単位:件)	[目標値] 3,650 [実績値] 3,632 <達成率> 99.5%	[目標値] 3,650 [実績値] 3,672 <達成率> 100.6%	[目標値] 3,650 [実績値] 3,678 <達成率> 100.8%	[目標値] 3,700 [実績値] 3,700 <達成率> 100.0%	アクセス件数 (単位:件)	[目標値] 32,000 [実績値] 30,512 <達成率> 95.4%	[目標値] 33,000 [実績値] 33,160 <達成率> 100.5%	[目標値] 34,000 [実績値] 34,771 <達成率> 102.3%	[目標値] 35,000 [実績値] 35,000 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	△	△	◎	△	◎	○	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 本市の貴重な文化・歴史資産について広く情報発信することは必要であるが、セキュリティの脆弱性の改善が必要とされており、利便性の向上とあわせて見直しを検討する必要がある。
28	助成・育成	郷土芸能保護事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成元年度 【概要】郷土芸能が正しく保存継承されるようにする。 【対象者】郷土芸能団体 【具体的な活動内容】用具の補修等に要する経費の助成 基礎額20万円に、必要額から20万円を控除した額に1/2を乗じて得た額を加えた額とし、上限を60万円とする。ただし、必要額が20万円以下の場合には、その額を補助額とする。 ・後継者育成等に要する経費の助成 1年度あたり10万円とし、連続する3年度を限度として交付。 ・記録映像作成業務	市単	[概算コスト] 4,753 (内訳) ・決算額 4,328 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 5,332 (内訳) ・決算額 4,907 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,416 (内訳) ・決算額 3,981 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 4,983 (内訳) ・予算額 4,554 ・人件費 429 (0.10人)	助成団体 (単位:団体)	[目標値] 17 [実績値] 16 <達成率> 94.1%	[目標値] 20 [実績値] 16 <達成率> 80.0%	[目標値] 19 [実績値] 15 <達成率> 78.9%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	活動団体数 (単位:団体)	[目標値] 46 [実績値] 45 <達成率> 97.8%	[目標値] 45 [実績値] 44 <達成率> 97.8%	[目標値] 44 [実績値] 44 <達成率> 100.0%	[目標値] 44 [実績値] 44 <達成率> 100.0%	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 郷土芸能の正しい伝承のために必要であり、後継者の育成について、効果的な助成方法を検討するとともに、記録映像について、ビデオの貸出のほか、授業での活用、ホームページでの情報提供など積極的な活用策を検討する必要がある。

行政評価（継続事業）  
事業手段の見直し(手段の改善等)

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	透明性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由						
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度										19年度	20年度				
29	助成・育成	鹿児島市指定文化財保護事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成10年度 【概要】文化財の適正な保存・伝承 【対象者】市内に所在する指定文化財の管理団体等 【具体的な活動内容】 多額の経費等を必要とする管理団体等に保存・伝承にかかる経費の一部を助成する。 補助額:交付対象経費から、国庫補助決定額及び県費補助決定額を差し引いた額の2分の1以内の額 現在の対象:福昌寺跡、天吹、薩摩琵琶	市単	[概算コスト] 520 (内訳) ・決算額 350 ・人件費 170 (0.04人)	[概算コスト] 620 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 170 (0.04人)	[概算コスト] 474 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 174 (0.04人)	[概算コスト] 472 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 172 (0.04人)	指定文化財への助成件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	保存された指定文化財件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	◎	○	○	○	○	○	○	○	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 文化財の適正な保存・伝承のため、現行の助成対象や助成額等について、見直しを検討する必要がある。		
30	イベント	ふるさと考古歴史館企画展開催事業	教育委員会ふるさと考古歴史館	○事業開始年度 平成10年度 【概要】郷土の歴史に対する理解を深め、興味をもってもらうとともに、ふるさと考古歴史館の利用者増を図るため、企画展を開催する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・年に4回企画展を開催 ・低コストのミニ企画展の開催	市単	[概算コスト] 10,442 (内訳) ・決算額 6,197 ・人件費 4,245 (1.00人)	[概算コスト] 9,087 (内訳) ・決算額 4,842 ・人件費 4,245 (1.00人)	[概算コスト] 10,171 (内訳) ・決算額 5,821 ・人件費 4,350 (1.00人)	[概算コスト] 10,074 (内訳) ・決算額 5,780 ・人件費 4,294 (1.00人)	企画展開催回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 5 <達成率> 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 6 <達成率> 150.0%	[目標値] 4 [実績値] 6 <達成率> 150.0%	[目標値] 4 [実績値] 6 <達成率> 150.0%	企画展観覧者数 (単位:人)	[目標値] 17,400 [実績値] 24,230 <達成率> 139.3%	[目標値] 19,700 [実績値] 22,072 <達成率> 112.0%	[目標値] 20,700 [実績値] 21,805 <達成率> 105.3%	[目標値] 20,700 [実績値] 21,805 <達成率> 105.3%	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 観覧者数が減少傾向にあることから、観覧者数が増加するよう広報の強化や企画展の内容等を検討する必要がある。	
31	啓発・広報	太陽光発電装置整備事業	教育委員会施設課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】市内の小中学校へ太陽光発電装置及び昇降口等に発電状況を示すパネルを設置し、児童生徒への環境教育への効果高めるほか、市民への新エネルギー啓発を図る。 【対象者】児童生徒及び学校利用者 【具体的な活動内容】 ・太陽光発電装置及び発電状況パネルの設置 ・発電状況パネルの授業等での活用 ・設置状況 地域的なバランスを考慮して整備を行う。19年度までに小学校5校、中学校1校に設置	市単	[概算コスト] 23,382 (内訳) ・決算額 23,340 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 26,613 (内訳) ・決算額 26,571 ・人件費 42 (0.01人)	[概算コスト] 24,212 (内訳) ・決算額 24,168 ・人件費 44 (0.01人)	[概算コスト] 28,631 (内訳) ・決算額 28,588 ・人件費 43 (0.01人)	設置校数 (単位:校)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	環境教育の促進及び新エネルギーの啓発	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 環境負荷の軽減や使用電力量の削減のため、校舎等の大規模改修の際にも太陽光発電装置を導入するなど、さらに有効な手法を検討するべきである。	
32	助成・育成	住宅用太陽光発電導入促進事業	環境局環境保全課	○事業開始年度 平成16年度 【概要】住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対して補助金を交付する。 【対象者】市内の自ら居住する住宅に発電システムを設置する人、又は市内に発電システム付の住宅を購入する人 【具体的な活動内容】 ・補助単価 45千円/kW 補助上限 3kW(135千円)	市単	[概算コスト] 66,638 (内訳) ・決算額 64,515 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 50,390 (内訳) ・決算額 48,267 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 34,249 (内訳) ・決算額 32,074 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 36,866 (内訳) ・決算額 34,719 ・人件費 2,147 (0.50人)	補助の件数 (単位:件)	[目標値] 530 [実績値] 485 <達成率> 91.5%	[目標値] 400 [実績値] 362 <達成率> 90.5%	[目標値] 400 [実績値] 236 <達成率> 59.0%	[目標値] 250 [実績値] 133 <達成率> 53.2%	二酸化炭素削減量 (単位:トン)	[目標値] 636 [実績値] 696 <達成率> 109.4%	[目標値] 480 [実績値] 513 <達成率> 106.9%	[目標値] 480 [実績値] 340 <達成率> 70.8%	[目標値] 300 [実績値] 340 <達成率> 113.3%	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 地球温暖化防止に有効な手段であることから、さらなる広報の強化を検討するとともに、「地球温暖化市民・事業者協働事業」と連携し効果的に取り組むべきである。	
33	啓発・広報	エコライフファミリー事業	環境局環境保全課	○事業開始年度 平成18年度 【概要】一般家庭に電気・ガス・水道使用量の節減などを通して二酸化炭素の排出削減を実践してもらい取り組みが優秀であった家族には表彰を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・チャレンジ部門:電気・ガス・水道使用量を二酸化炭素排出量に換算した値で、前年比8%削減を目標に4ヶ月間取り組む。 ・ステップアップ部門(平成19年度~):チャレンジ部門終了家族が、各家族で目標を立てて更に1年間省エネ生活に取り組む。	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0 (0.00人)	[概算コスト] 1,457 (内訳) ・決算額 693 ・人件費 764 (0.18人)	[概算コスト] 1,683 (内訳) ・決算額 900 ・人件費 783 (0.18人)	[概算コスト] 1,802 (内訳) ・決算額 1,029 ・人件費 773 (0.18人)	参加申込家族数 (単位:家族)	[目標値] 530 [実績値] 485 <達成率> 91.5%	[目標値] 400 [実績値] 362 <達成率> 90.5%	[目標値] 400 [実績値] 236 <達成率> 59.0%	[目標値] 250 [実績値] 133 <達成率> 53.2%	取組結果報告家族数 (単位:家族)	[目標値] 636 [実績値] 696 <達成率> 109.4%	[目標値] 480 [実績値] 513 <達成率> 106.9%	[目標値] 480 [実績値] 340 <達成率> 70.8%	[目標値] 300 [実績値] 340 <達成率> 113.3%	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 地球温暖化についての意識啓発を図るために必要な事業であるが、参加家族が少ないことから、効果的な広報に努めるべきである。
34	啓発・広報	低公害車導入計画推進事業	環境局環境保全課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】「鹿児島市環境基本計画」に基づく率先行動として、本市公用車及び市営バスを可能な限り低公害車に切り替えるとともに、民間への低公害車の普及促進を図る。 【対象者】市及び市民 【具体的な活動内容】 ・公用車等の買い替え時に低公害車を計画的に導入する。 ・低公害車に係る駐車場の使用料減免措置 ・民間への普及啓発用のリーフレット作成(発行部数 2500部/年配布場所 学校、公民館、ティラー等) など	市単	[概算コスト] 1,809 (内訳) ・決算額 196 ・人件費 1,613 (0.38人)	[概算コスト] 1,798 (内訳) ・決算額 185 ・人件費 1,613 (0.38人)	[概算コスト] 1,857 (内訳) ・決算額 204 ・人件費 1,653 (0.38人)	[概算コスト] 1,888 (内訳) ・決算額 256 ・人件費 1,632 (0.38人)	低公害車の導入台数(バスを除く) (単位:台)	[目標値] 23 [実績値] 25 <達成率> 108.7%	[目標値] 32 [実績値] 36 <達成率> 112.5%	[目標値] 35 [実績値] 39 <達成率> 111.4%	[目標値] 40 [実績値] 40 <達成率> 100.0%	低公害車の普及促進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	○	◎	◎	◎	○	○	○	△	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 民間への低公害車のさらなる普及促進を図るため、効果的な広報に努めるべきである。
35	内部管理	環境監査事業	環境局環境保全課	○事業開始年度 平成13年度 【概要】市役所の事務・事業にともなう環境負荷を可能な限り低減するために策定された環境配慮率先行動計画に基づき、施策の適正な進捗管理に資することを目的とした内部環境監査を実施する。 【対象者】市職員 【具体的な活動内容】 ・内部環境監査の実施 ・フォローアップ監査の実施 ・監査実施報告書の作成 ・内部環境監査員の養成・研修の実施	市単	[概算コスト] 2,047 (内訳) ・決算額 1,071 ・人件費 976 (0.23人)	[概算コスト] 2,183 (内訳) ・決算額 1,207 ・人件費 976 (0.23人)	[概算コスト] 2,208 (内訳) ・決算額 1,207 ・人件費 1,001 (0.23人)	[概算コスト] 2,232 (内訳) ・決算額 1,244 ・人件費 988 (0.23人)	監査実施課数 (単位:課)	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100.0%	[目標値] 38 [実績値] 38 <達成率> 100.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 <達成率> 100.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 <達成率> 100.0%	監査結果適合課の数 (単位:課)	[目標値] 26 [実績値] 16 <達成率> 61.5%	[目標値] 38 [実績値] 30 <達成率> 78.9%	[目標値] 40 [実績値] 37 <達成率> 92.5%	[目標値] 40 [実績値] 40 <達成率> 100.0%	○	◎	◎	◎	△	◎	○	◎	○	○	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等)  (理由) 率先行動計画開始から8年が経過し、内部環境監査の手法については、十分周知が図られているところである。21年度からの率先行動計画に合わせ、内部監査の委託内容を見直すなど、コスト削減に努める必要がある。

